

熊出没に関する注意事項

新型コロナウイルス感染症の影響による自然の村の閉村期間に人の出入りが減ったため、山からキャビン地区に熊が下りてきている痕跡が確認されました。（具体的な出没情報につきましては裏面でご確認ください）また、近年は熊の餌となる木の実などの不作により、全国的に熊が人の居住区域まで下りてくる事例も多数報告されています。

つきましては、キャビン地区、天体施設、ハイキングコースを利用される皆さまは、事前に必ず出没の状況と下記の熊に関する注意事項をご理解いただいた上でご利用ください。

また、熊や熊の痕跡（糞や爪痕等）を目撃された場合は、速やかに自然の村管理人までお知らせくださいますようご協力お願いいたします。

記

1 熊に出会わないために

- ・ハイキングコースを利用される場合は、事前に管理人に申し出、必ずベアベル（熊鈴）を携帯してください。（中央棟で貸出しあり）
- ・ハイキングコース上に一斗缶が設置してあります。付属の棒で音を鳴らしてお通りください。
- ・熊撃退用スプレーをご持参いただくことをお薦めいたします。
- ・キャビン地区やハイキングコース等の野外に食料、ゴミ等を絶対に放置しないでください。
- ・キャビン地区利用時、食材は屋内で保管し、ゴミはゴミ集積コンテナ内に捨ててください。
- ・見通しの悪い場所、ベアベルの音が聞こえづらい沢沿いなど、こちらの気配に熊が気づきづらい所は特に注意して通行してください。
- ・冬眠中でも熊はすぐに動くことができます。熊が冬ごもりをしている可能性のある、木や岩の下の穴（くぼみ）などをのぞき込むことは大変危険です。そのような場所を見つけた場合は注意して通過しましょう。

2 熊と遭遇してしまった時（遠距離）

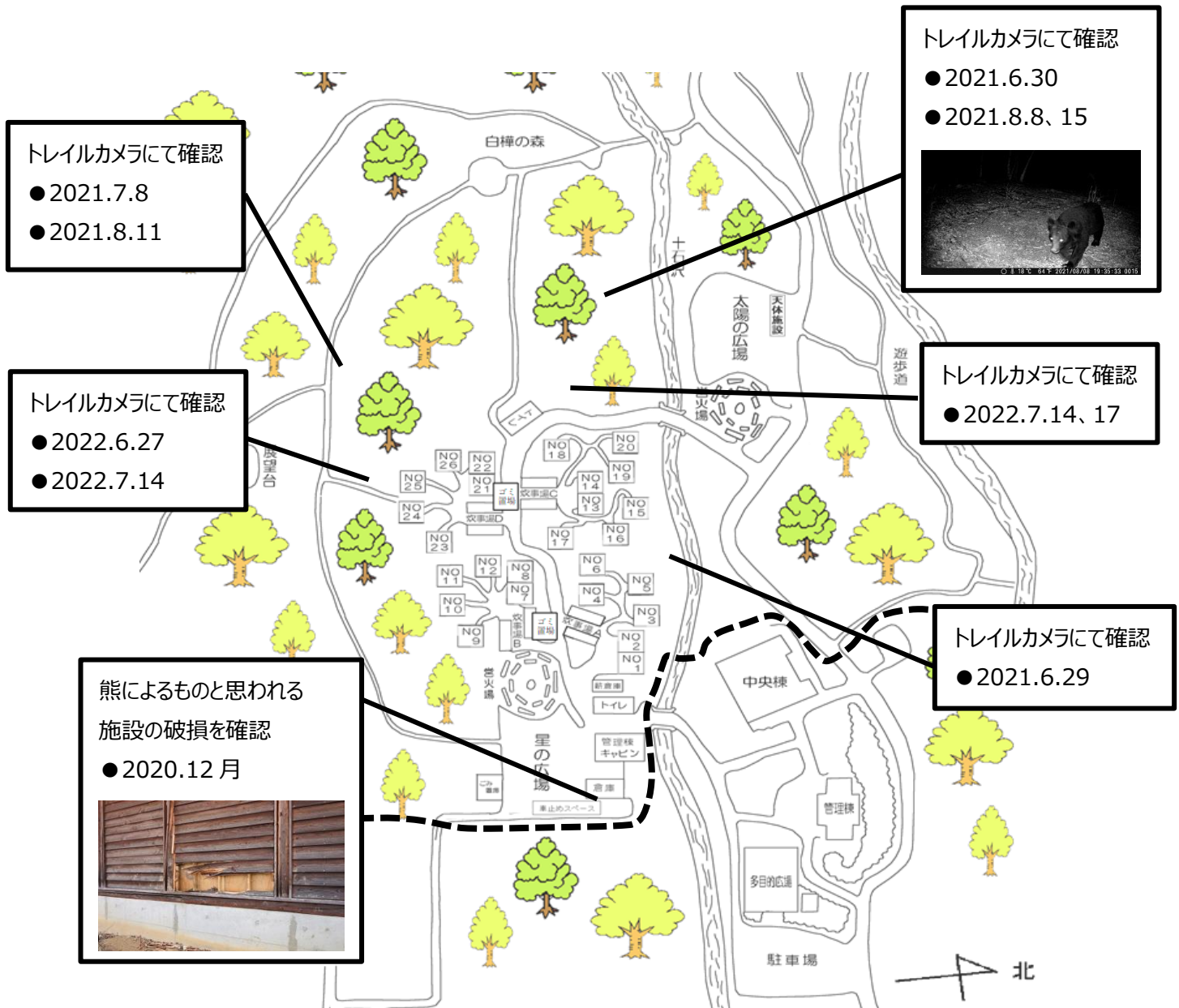
- ・立ち止まって熊の行動を観察してください。
- ・熊がこちらに気づいていなければ、物音を立てずに立ち去りましょう。
- ・熊がこちらに気づいている場合は、立ち止まって観察、熊が目をそらしたら少しずつ距離を取りましょう。

3 熊と遭遇してしまった時（20m以内）

- ・大声や音を出さずに熊を観察、熊が目をそらしたら、安全な距離が取れるまでゆっくり後ずさりしましょう。（逃げるものを追う習性があるので、絶対に走って逃げないでください）

4 熊が近距離でこちらに向かってきた時

- ・近くに木の切れ端などがあれば、武器にしたり大声を出したりして威嚇する。
- ・（熊撃退用スプレーを持参していれば）熊が2m程度まで接近したら、熊の鼻先目掛けて、熊が逃げるまでスプレーを噴射し続けます。
- ・（スプレーがなければ）うつ伏せになって両手で首、後頭部を押さえて致命傷を防ぎましょう。ザックがあれば、ザックで頭部を守りましょう。



トレイルカメラによる監視の無い時期の散策は自己責任でお願いいたします。

自然の村での熊に対する対策

- スタッフによる村内巡回
- トレイルカメラによる監視（冬季を除く）
- 害獣撃退装置による侵入の予防
- 利用者への注意喚起
- 熊対策ゴミ置き場の設置

ハイキングコースの一斗缶

熊よけの為に音を出すためのものです。付属の棒で叩いて、お通りください。



トレイルカメラ・害獣撃退装置

動くものを検知して、撮影や大きな音で威嚇をしたりします。もし見かけた場合は、立ち止まらずお進みください。



トレイルカメラ



害獣撃退装置